

ケニアで安心・安全な水へのアクセスを目指す！

日本製の高品質で施工性の高い管継手を導入

国際協力機構（JICA）は9月18日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」において株式会社川西水道機器（香川県綾歌郡、川西章弘代表取締役社長）が提案する「ケニア国水道施設における無収水対策に係る案件化調査」を採択しました。

本調査の対象国であるケニアの上水道分野において、水道施設の老朽化と高い無収水率は喫緊の課題です。高い無収水率の主要な原因の一つが「老朽化した水道管路からの漏水」となっており、漏水問題の多くは水道管と水道管をつなぐ「管継手」に起因しています。

提案企業である株式会社川西水道機器は、1952年の創業以来、管継手の専門メーカーとして、高い施工性及び異なる材質・口径の水道管の接合が可能な管継手を開発・製造・販売しており、国内外で高く評価されています。



ケニアの漏水状況



管継手活用の様子

本調査は同社の提案製品である管継手の同国でのODAへの活用可能性を調査するとともに、ビジネス展開について検討するための調査です。提案製品が普及することにより、ケニアの水道施設における無収水の削減への貢献を目指します。

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012年度から実施されており、2020年度第一回分は本年6月に公示を行い、25件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース） 案件化調査 2020 年度第一回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/press/2020/20200924_10.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国 業務課 埴田、湯本

TEL 087-821-8834 e-mail：Tada.Atsushi2@jica.go.jp

Yumoto.Misako@jica.go.jp